

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



なごや ちくさ WEEKLY

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 〒464 千種区池下一丁目4番18号
井上ビル4F D号
Tel 763-5110
会長 竹内真三

No.10 (1983~1984)

みんなにロータリーを —— みんなに奉仕を
Share Rotary —— Serve People

1983~84年度RI会長 ウィリアムE. スケルトン

第54回例会 昭和58年9月6日(火)晴

◇ “君が代” “奉仕の理想”

◇ 出席報告

会員 48名 出席 31名
出席率 65.96%

◇ 前回 8月30日(修正出席率) 100%
make up

秋山君(9/3守山), 青山君(9/1瑞穂), 深見君(8/29中), 加藤(正)君(9/3守山), 水野(民)君(8/29東), 水野(賀)君(9/2港), 西川君(9/1西), 菅原君(9/2東京西), 都築君(9/2港), 鶴飼君(8/29中)

◇ ビジター紹介 1名

◇ ニコボックス

菅原君(例会欠席が続きます, 又インターハイ, インセレ無事終了しました), 秋山君(創立一周年を記念して)

◇ バナー披露

RC of Waikiki, Hawaii (菅原君)

◇ 三輪幹事報告

1. 「ロータリーの友9月号」が届いておりますのでお持ち帰り下さい。
2. 今年度のクラブ計画書ができあがりましたのでお持ち帰り下さい。

◇ 菊池社会奉仕委員長報告

今年度事業計画とお願いを申し上げます。事業計画としては市内14RC合同事業に参加すること等機会あるごとに報告いたします。単独事業として、すでに皆様の御手許にご案内が届いているかと思いますが「秋の交通安全県民運動」を開催することになりました。

なおこの運動は千種RC主催の形になっておりますので全会員の参加をよろしくお願いたします。

訂正) ご案内の中で服装を軽装と記しましたが、例会に御出席される際の服装程度で参加下さい。

◇ 竹内会長挨拶

何気なく家内専用の机をみましたら司馬遼太郎先生の『項羽と劉邦』という本がのっていました。

皆様も御承知の項羽とは楚の人。劉邦は漢朝の始祖の事です。全盛を極めた秦も始皇帝が没してからは昔日の勢いはなく、紀元前200年頃の嬰王の時代です。

秦に抑圧された各地で反抗のノロシがあがり懐王を盟主と仰ぐ連合軍に結局秦は亡ぼされるのですが、その先鋒を承ったのが項羽と劉邦です。一番乗りをした方が王様になる約束でしたが、結局劉邦が先手を打ちました。首都咸陽に乗り込んだ劉邦は宿願達成に気がゆるみかけるのですが、優秀な参謀の献策にて部下に占領地での略奪暴行を禁じ、本来なら首を刎ねるべき秦王嬰を寛大に扱い、更に各県の長老や有力者を集めて約束します。

「今まで諸君は悪法に苦しんできたが私は約束する『法は三章のみ』人を殺した者は死刑、人を傷つけた者と物を盗んだ者は程度により罰する。他の悪法は全部廃止する」と。是を聞いた人々は歎呼の声を挙げ貢物をもって集まり、是非この国の王になってくれと声価が高まります。以上が有名な法三章の経緯であります。昔朝日新聞に『杉村楚人冠』という有名な新聞記者がいました。『楚人冠』という名前が子供心にも奇妙で調べた事があります。

さて一方一番乗りには遅れをとりましたが、勇猛なる項羽も間もなく咸陽に乗り込みます。然し彼は劉邦とは逆に降参した秦王の嬰を直ちに殺し、栄華を極めた阿房宮に火をつけます。莫大なる金銀財宝を手にして有頂点の項羽は故郷に錦を飾ろうと行進します。その道行を眺めた人々は「楚人(項羽)は淋猴(猿)が冠をつけてるようだ」と嘲ります。『楚人冠』はこの故事に由来したものでした。

攻撃には峻烈でも人心収攬が全く出来なかつた項羽の故事を自戒をこめて自らの筆名にした楚人冠先生の心意気に子供心にも打たれたものです。

『法は三章のみ』と昂然と訓い放った劉邦が後に漢朝の高祖になるのも宣なる哉と思えます。

中学時代公民の先生から「理想の社会とは巡查も弁護士も医者も要らぬ社会だ」と雑談的に習った事を思い起します。

複雑なる現代社会は『法は三章のみ』とは参りませんが根本精神はそこでありましよう。法律が錯綜してきますと宋の狙公の『朝三暮四』的な政治に国民は戸惑う事になります。本日のスピーカー草川昭三代議士の御活躍に期待する所以もそこにあります。

◇ 講演

“国政放談”

国会議員

草川 昭三 氏 (紹介者 加藤大豊君)



7月25日より1週間、私は国会議員として初めて樺太(サハリン)に行ってきました。樺太はソ連の中でも特別行政区で外国人は一切入国を認めておらず、従って稚内より毎年一度出る墓参団の船に便乗して行きました。この樺太に戦後40年近く経った今もなお日本は大変重要な問題を残しております。もと日本人としての朝鮮人約6万人の帰国問題であります。彼等は日本兵により大邱、濟州島から徴用され強制労働をさせられてきました。敗戦により日本人は祖国に帰りましたが、朝鮮人は依然祖国に帰れないのです。韓国では毎年1回大邱で抗議集会を行っています。彼等は40年間身内の帰国を待ち続け「泣いた涙が河になり、もう涙も涸れ果てた。日本は責任をもって在樺太朝鮮人を帰国させろ。」と訴え続けております。私は国際赤十字に訴えると共に、現地で共産党第一書記と会見し帰国について交渉しました。樺太での朝鮮人の5割はソ連国籍、2割は北朝鮮国籍をとっており残りの3割は無国籍のまま祖国へ帰りがっているという事でした。しかし、樺太はミグの基地があり、オオトマリが不凍

港の為潜水艦基地となっており、カムチャツカ同様対米戦略上要衝の地であります。そしてこれら港や飛行場の建設には朝鮮人労働者が携っていた故、秘密保持の為帰国はさせないだろうという事が判り、再度交渉の折、地位の高い朝鮮人10世帯の一時帰国で了解をとりつけました。8月15日大邱へ行きこの事を報告してきましたが、我々日本人はもっと責任を自覚すべきだと思います。他方樺太には約8百人の日本人が残っております。帰国船上ロシア人に連れ去られた女性が大半ですが、これらの人々の中には離婚を重ね、その風貌からは戦後の風雪を耐え忍んできた跡が偲ばれ、悲惨な生活を今でも送っている人達が居るのです。土産の大根の種を数粒ずつに分け、大切に持って帰る姿、これを思うに戦後40年近く経った今もなお、このような人達が居るという現実を我々は肝に銘ずべきであります。

先程述べましたように、樺太が軍事的要衝であるが為、その防衛面で中央政府と考え方が多少違うが故に大韓航空機撃墜事件が発生したのではないかと考えます。

今月8日より臨時国会が開かれますが、大韓航空機事件も当然大きな議題となりますが、減税問題が中心となります。田中角栄の判決をめぐる国会は大荒れになると新聞は報道しておりますが、本当の動きは来年の予算が組めないところにあります。役人側は早く衆議院の解散を行って、新政権が増税をし、それによって予算をたてたい意向であり、中曽根首相としては、1兆円減税を打ち出し、選挙戦を有利に導く事を考えているようですが、田中角栄の引退問題と次期政権をめぐる、皇室典範の改正までも絡めて水面下で虚々実々の駆け引きが行われているのが現実です。

11月にはレーガン大統領が来日します。米国は日本とのパートナーシップを求めておりますが、問題は日本人が世界のリーダーシップの一翼を担っているという事を自覚していない点にあります。米国の経済秩序を日本が破壊している点を認識しないと今後問題は残るでしょう。

さて最近の教育には危機感を持ちます。日本民族は世界最高の民族だという自負心が無い為、ヘタをすると日本民族の滅亡もある日突然やってくるかもしれません。私共野党も国際的に大きな視野を持ちながら、日本の将来を長期的に考え、これから進んでいこうと思います。この意味において、地域社会に役立っておられるこのような会に参加させて戴き大変有難うございました。(文責 宮尾)

◇次回例会(9月13日)

卓話“住宅あれこれ”

会員 小池 宗 君

◇次々回例会(9月20日)

卓話“絵馬”

伊勢絵馬師 安田 識人 氏
(紹介者 菅原君)